



しもながや

令和4年4月28日 発行

横浜市立下永谷小学校

3つのお願い

校長 鈴木 陽一

「校長先生おはようございます。」と教室をのぞくと、元気に朝のあいさつをしてくれる子がたくさんいます。年度初めに、次の3つのことを話しました。

一つ目は、「あいさつや返事をしよう。」です。あいさつをすることで、気持ちが通ったり、話のきっかけになったりします。「おはようございます」一つで、「元気です。」「今日もよろしくね。」というメッセージが伝わります。見守りの方や旗当番の皆さんには「ありがとうございます。」という気持ちも伝わります。私が出張などで、道を歩いていると「あっ、校長先生。こんにちは。」とあいさつしてくれる子がいます。そのような時、ある意味あいさつできるといえることは、相手を認識しているということ伝える手段で、安心できる相手と認識し合うためのもの・認識し合うことでできるものがあるのかと感じます。子どもたちが、気持ちよく挨拶ができるよう私たち大人も安心できる空間や場を創っていききたいものです。

二つ目は、「人の話をしっかり聴こう。」です。相手の話をしっかり聴き、相手が何を伝えたいのか、どんな気持ちで話しているのかを聴くことは大切です。しっかり聞くことができることで、話し方もきっと上手になるでしょう。コミュニケーション能力の育成と言われます。表現力をつけること・話し方が上手になるだけでは、コミュニケーション能力がついたとは言えないと思います。互いに相手の思いや気持ちを理解し通じ合うことが大切です。そこで、まずは、しっかりと相手の話を聴き受け止める力を培ってもらいたいと考えます。よく子育てで、子どもに話をするときは、目を見てしっかり話をするるとよいといわれます。保護者の皆さんには、お子さんと向き合っ短い時間でも話をしあえる時間を、毎日作ってみてください。

三つ目「自分でできることを増やしていこう。」です。これは子どもたちだけでなく、我々大人もできることが増えると嬉しいものです。そしてそれが少しでもうまくできたりするとさらにうれしいです。子どもたちにとっては大人以上にうれしいことだと思います。誰かと比べるのでなくその子にとってできるようになったことが増えていけるよう指導し、励まし、認めていけたらと思います。

この一年間子どもたちには、この3つを意識していってもらえるよう伝えていきます。

今年度も、本校の教育活動へのご理解ご協力よろしく願いいたします。